## 卒 業 式 $\bigcirc$ 案 内

ľ る 頃 7 な V) ま L

回防巣おりに木 回防\*おりは、なのつ 卒為のち申校ま べのしのすぼ 内時上教まみ 容がですすが まにご少 すは清され ようとしずのほと お陰様でいとかたかつほころ おり、ならならのび、 ま十ぬび日 す 名理し日 の解上と 児ごさますの 単協す気 小力。配 学を 1) 校た 六 だ だ 年い 間て のお 全り 課ま 程す をこ

れ第 修と た の九感了を日。庭 門十染し厚頃皆先 出一予、くよ様の さいお別されていたと迎えよいままがある。す まま なすってて 。記お 、ださいよこまり の令 こ和 よと元 うと年 ごは度 案存練 内申し上にますが げ、開 ま子進 す供第 。たニ ち小 の学 晴校

令 和 \_ 年 Ξ 月 吉 日

練 馬 区 立 開 進 第 小 学 校 長 長 谷 Ш 修

保 護 者 各 位

記

ミニー · · · 受場日 付所時 校本令 舎校和 中体二 央育年 玄館三 月 \_ 十 五 日 水 午 前 十 時 開

関

九

時

十

五

分

5

三

十

分

式

 $\bigcirc$ 卒 業 生 登 校 九 時 ま ~

お 願 1) 申まくに した感だご当 上、染さ着日 げ体予い席は ° ′ ′ ま調防 だ九 す不の さ時 。良為 1,+ O ' 場式 ま五 合にな す分 ٤ ١ 参 は う三 、列 お十 出は 願分 席 いま をご 申で しに 家 遠 上受 庭 慮 げ付 L 名 まを 7 す済 ま 頂で 。ま きと 上せ まな 履、 き九 す つ 7 ょ は時 お う 各四 自十 ま 協 、分 カす おに 持は ち式 願

場

( )